採炭全能力を發揮して當面の大需要季に備ふ
各鑛徐ろに陣容を整ふ

常磐地方では今年の大需要季節に備へるため各炭鑛とも採炭能力の増加につとめつゝあるが各地に大口の需要が湧いて八方から豫約の追加註文が殺到して來るので採炭と發送の調節が狂つて當惑してゐる、炭價も高騰して昨年から見ると山元相場噸當り一圓から二圓のひらきが出來てゐるので炭山としては不足のない好景氣である。各炭鑛では降つて湧いたこの好況に備へる爲非常手段による採炭を發意し左の如く實行に移しつゝありこの應急處置が大需要期において如何なる反應を現すか少なからず注目される

【磐城炭鑛】 坑道・側して附近一帶に死藏してある石炭及び殘柱等を整理採炭することによつて一ヶ年五十餘萬圓を捻出することが出來るとの計算が浮び今回重役會の承認を得て新規坑口の開鑿費三十餘萬圓を支出するに決した

【高坂坑】 綴坑の一部として目下地下一千尺の抵部に水沒してゐるこの炭層を發掘して採算を合はせやうといふ計劃も熟してゐる、元來この附近は温泉の湧出地帶として湧水量多く作業困難のため暫く放棄されてゐた地區であるが炭價の高値に從つてやうやく採炭の手をここに延長されることになつたもので經營者は排水費用に大きな犧牲を覺悟してゐる

【入山炭鑛】 コストの關係から閉鎖されてゐた地下一千五百尺の最抵深度に手を加へる意嚮で新に第六坑を興すことになつたがこれが爲電力費の抵下節減を必要とするので從來の日立電力と手を切り新に東部電力と長期の契約を結ぶに決し目下手續中である かくて常磐の各炭鑛では採炭能力の引上げにつき今や死にもの狂ひの活動中である

平青年團選手決定
昨夜マルトモで役員會

別項―大會の選手詮衡の爲平青年團では昨夜マルトモホールに於て役員會を開いた結果左の如く決定

競技部 百米―柏原武三(三丁目) 四百米―豊島豊(胡摩澤) 千五百米―猪狩廣太(柳町) 一萬米―野口一(同) 砲丸投―花澤雪雄(白銀町) 走高跳―五十嵐正一(柳町) 走巾跳―佐藤秉介(研町) 俵擔ぎ―中條淸(柳町) 千米瑞典リレー―柏原武三、豊島豊、山野邊二郎(南町)橋本正雄(道匠小路)補―本間鐵男(南町)佐藤弘(北白銀)佐久間芳夫(同) 劍道―遠藤英夫(材木町)高梨五郎、(柔道)推根保美(長橋)阿部兼千代(鎌田町)補―花澤雪男(白銀町) 相撲―鈴木又四郎(北白銀町)佐久間芳夫(同)

磐中、平商の庭球選手出發
愈々明朝仙台へ

明後廿四日より二日間仙臺で開かれる東北學院主催の東北地方中等學校庭球大會に磐中―川隈、小川、大谷、宮川、平商―安島、木田、本田、塚本の四チームは愈々明廿三日午前五時四十三分發で出發する

少年の家出
母を慕つて

平驛前交番で保護 二十一日午前零時半頃平驛構内を迂路つく擧動不審の少年あるを署員が發見取調べると、この少年は好間村中好間農ふみ子(三二)長男石川昇(一三)假名―で數日前ふとした事情で家出した行方不明の母を慕つて搜しに出たものと判明交番で食を與へ保護の上夜あけを待つて實家へ引き渡した

平局小包增加

平局 去月中の小包郵便物引き受け數は計千七百二十八個で六月より三百十六個の増加を示し尚中元贈答品の關係から一層の増加を豫想されてゐるが今月分は二十一日現在で引き受け總數は計九百八十七個である

投槍
投書歡迎

。。。。。。。カフェー改善私見

◇海無き港の 平町カフヱーが近來著しい發展を遂げ夜毎灯ともし頃から深更迄鳴り物入りで騷いでる事は、不景氣吹つ飛ばしの朗かな行進曲として誠に結構

◇島の娘のメロデーと蠱惑的なステンドグラスに吸はれてわく〳〵する胸を抑えて中へ入つた、照明は暗い(わざと)が紅紫とりどりの豆電氣に肌もあらはな洋裝の美女に境地はまさに龍宮城だ

◇浦島の樣なうつとりした氣分になつてると、來るは來るは鼻の丸いの、口の大きいの、目尻が些か風俗壞亂的に下つて居るの。等、等。而も之らは好き手な事を喋舌り合つて見る間につまみの幽豆を平げて了つた

◇影が薄くなつた浦島が呆氣にとられてると『チライを』『ソーダ水を』と左右から執拗におごれと迫る 元來內氣な浦島が大体それらの要求を容れてイザ勘定となつた處が四圓と八十幾錢

◇一人の客に 女給も一人で澤山だ、比較的安値にそしておごれ〳〵の一齊射にひたれる處が平町にもア卜一二軒欲しい・當業者諸君以て如何となす(城山性懲り生)

て居る

第二校に賊

昨夜深更平第二校職員室に賊忍び入り南側の机をくまなく搜し廻つたが目星しいものがないので佐藤信義訓導の運動ズボンを窃取したのみで幸ひ北側机中の現金には手をふれず逃走した事今早朝當直の草野訓導が發見直に平署に屆け出たので犯人嚴探中

自棄酒をあふり出刃庖丁で切腹
情婦を疑ふての自殺未遂

勿來驛前鍛冶職金森四郎(三六)は今年四月頃から附近の桶職春治妻渡邊みよし(二四)と通じ昨二十一日午後七時頃某所で密會を約束したが女が亭主に感付かれて來なかつた爲裏切り見切られたものと早合點し强か自暴酒をあふり女の家へ暴れ込み反對に散々毆打され口惜し紛れに一人心中を企て出刃庖丁で切腹苦悶中發見され應急手當の結果一命を取り止めたと

宇南山氏退職

平署巡査赤井駐在宇南山榮三郎(五八)氏は今回一身上の都合

神社の金具を盜む
放浪の十七少年檢擧

昨二十一日午後二時頃內郷村御厩地內を徘徊中の擧動不審な少年あるを平署員が發見取調ると右は當時住所不定無職岩手縣江刺郡福岡村立澤秀夫長男大川利秋(一七)假名―で十九日午前七時頃大字御厩地內神社の銅製金具を剝して長橋町某古物商に賣却した外數件の盜みを自白したが尚關東方面をルンペン中の餘罪もある見込で引續き取調中である

同氏は明縣巡査中の最高老齡者で

―した事情で家出―

着衣の儘飛び込み勇敢に溺兒を救ふ
立町菅野富雄君の働き

平町立町菅野富雄(一六)君は昨二十一日午後二時半頃紺屋町磐夫二男瀧口二郎(七)君が鎌田鐵橋下夏井川で水遊び中深みにはまり二十數間押流されて溺死せんとして居るのを發見着衣の儘飛込み救助した

鈴木巡査部長全國大會出場

平署 巡査部長劍道四段精錬證鈴木忠正氏は來月三十日東京戸山學校で開催される第五回全國警察官武道大會に出席すべく目下練習に精進して居る

黒木訓導研究發表

東部聯合教育部會では來る十一月十一日平第一校に開かれる總會當日の研究發表者一名を募集中だつたが申込六名で審査の結果小川校黒木喜一氏の『農山村教育建設』と決定した

輕快なステップを踏む舞踊の田村君
あす湯本同窓會へ出席

前陸軍參與官比佐代議士、八木澤、佐波古の兩醫博、木村元鐵道省勅任技師、參謀本部の若松大尉等、等を輩出した湯本小學校の同窓會は明二十三日午後五時から同町三函座に於て開かれるが會員中の超變り種に田村元湯本驛長の長男田村一雄(二四)君がある、君は大正十三年磐中四年半途で上京、兩親の反對を押し切つて好きな舞踊界に身を投じ、晝は銀座の某ダンスホールへ、夜は明大の夜學にと拮据八年の努力を續け、天禀に惠まれたその妙技は何時

舊盆の貧者に惠む
助成會で該當者を調査

平町共濟事業助成會では例年の如く舊盆に際し市中の貧困者に現金を給與する事になつたが右該當者の最も多いと云はれて居る鎌田町ではその照會に依り此程區長宅に役員會を開いて種々協議した結果全町六組長に命じ調査を開始した

入山對湯本俱樂部野球試合

湯本俱樂部對入山炭鑛の野球試合は今廿二日午後三時から入山グラウンドに於て行つた

。。。。。。鎌田副區長改選 今廿二日夜區長宅に於て行ふと

。。家出 宮城縣名取郡中田村前田町二六菓谷眞淸(三八)は二十日無斷家出し內郷村の知人を賴つた形跡あるとて今廿二日身寄りから平署に搜索方を願ひ出た

。。居た。湯本町日渡六〇高橋健藏(一五)は十三日無斷家出し平署で搜査中昨二十一日赤井村地內で發見實父太利藏に引渡した

平町慶弔錄

△出生 紺屋町五一佐藤安信氏二男幸男君

△婚姻 福岡縣三瀦郡川口村津古賀正記氏(三三)紺屋町六七山崎貞(二九) 手掴町一一四菅原力氏(四三)北海道美國町船間一二〇荒川サダ(三四)

新八月二十三日 水曜 舊七月三日 辛酉 先負 除 參宿

諸判定 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 緊辯に罪してひん斥せられ信用を落すべき日▲二黑の人 事業は次第に擴張せられ優勢たる幸運の日▲三碧の人 敵意にはさまれ物事順調に進み難く不安の日▲四綠の人 福神に反かれ衰へ次第に衰微せんとする逆運日▲五黃の人 障害なく屈伏して大に努力すれば成績吉し▲六白の人 不撓不屈の精神を以て本業に盡力すべき日▲七赤の人 不運も幸運に向はんとす愼重に事を謀れ吉▲八白の人 志望意志通りに行はる開店婚儀普請凡て吉▲九紫の人 輕率に陷り易く人のため虛に乘ぜらるべし

縣參一行十名磐城丸で金華山へ
明後廿四日小名濱から乘船

會計檢查 縣參事會員一行十名は今二十二日平署、縣稅務出張所、土木監督所、磐中、磐女、鑛業取締支所の順で會計檢查を行ひ湯本町松柏館に一泊明二十三日は午前九時から植田町其他を巡視し明後二十四日は小名濱港から磐城丸で金華山方面に向ふ

縣參事員慰勞宴會

各官公署長、縣議主催の縣參事會員歡迎會は今二十二日午後六時から住吉屋本店で開くが會費は二圓である

之文會發會
小名濱に修養團体

小名濱町長小野晉平氏其他西山校長、福尾水工支配人等の有志は過般來町民の指導啓發上日常生活に卽した適當の修養團体を創設すべく寄々劃策中であつたが此程愈々論語の研究と實踐を目的とする之文會を創め來月發會式を擧ぐる事となつたが講師は漢學に造詣深き磐崎村大字西郷出身の石川元相中敎頭であると

愈々一旬に迫つた郡下青年對抗体育大會
神宮選手を擁す小名濱 昨日申込のトツプを切る

來月十日磐中グラウンドで開かれる郡下青年團對抗体育大會には從來あつた八百米繼走を除き新に千米瑞典繼走の種目が加はつたのでこれが爲從來に比し參加申込が遲れて居たが昨廿一日は昨年明治神宮に出場した百米の草野仁君を擁する小名濱青年團が申込のトツプを切つた

在庫米調查

平穀物檢查所では各町村技術員に囑託管內各町村の在庫米を調查中であるが九月一日迄終了縣及農林省へ報告すると

支那事情講演

平町役場並平青年團修養部主催東亞同文書院學生役員講演會は來る廿五日午前九時から平第三校に開催するが講師及演題左の如し

支那排日運動の實相、現代支那婦女子に就て(千枝陸助)支那國民性、赤道を越えて(佐藤金藏)

秘庫を探る 一
……(奉天から)……

日本學生滿蒙學術研究團員 沼田一夫君通信(內郷村出身)

日本各大學學生聯盟の滿蒙學術研究團一行中の內郷村出身東北帝國大學法學部三年生沼田一夫(二六)君は郡下に於ける唯一の參加者で地方出身多數學生の爲萬丈の氣を吐いたものと各方面で大なる期待をかけてゐるが次は同君から父濱之助氏に宛てた視察通信の抄錄である

學良全盛の遺物

―廿一日(七月)午前八時當地に到着只今東北大學寄宿舍に滯在致して居ります、同寄宿舍及大學校舍は學良全盛時代の遺物としてその規模の廣大なこと誠に滿洲式と云ひませうか、關東軍の自動車隊、高射砲隊などがその舍を宿舍として居ります。外出は何故か二十五日迄嚴禁されて居ります、本日迄當研究團の狀況を考へますに統率者の命令區々に別れ專門的視察見學も許されず單に軍車教練的な行動に過ぎざる感あり學生間の非難も高い樣であります、併し小生は將來の發展地として尙今回の行動を滿蒙に貢獻せんとする第一步として飽く迄學究的態度と學生としての襟度とを以て充分の研究を遂げたいと思ひます、大連を出發して關東洲を過ぎると漸く滿洲に入つたと云ふ氣分になり見るもの聞くものすべて珍らしくもあり何となく淋しくもありました。だけど自分の決心大なる故か未だ滿洲を捨てる氣になりません

不氣味な支那街

昨日は奉天市中の滿鐵俱樂部へ柔道練習の爲め特別に外出を許され自動車で出掛けました、市中まで約二〃半途中馬車を雇はうとしましたが道が惡い爲多くは行つてくれず因つて終ひました。漸く七時頃二台の馬車を見つけて乘りました、途中で邢町を通りましたけど、くさくてとてもお話になりません、道路は丁度泥沼のやうで今にも馬車から落ちそうになり又或るところでは路面を河の樣に流れてゐるのをボンヤリと何も云ふことなしにながめてゐる滿洲國人もありました。漸く城內を離れて淋しい地點に達すると巡警五六名が現れて誰何されたのに驚きました。而もヌキ身の拳銃、銃をつけつけるのですからとても氣味惡かつたです。其の奉天驛到着の際中屋さんが驛迄御出迎へ下さいました旅行に來るやうに仰せられましたけれど許されないらしいです。お父さんからもお願ひ狀を出して下さつたことゝ思ひます、工藤さんへ紹介狀を出して下さつたでせうか、小生は廿九日まで奉天に滯在ですけどそれまでに屆かなければ最早絕望と見るほかないと思ひます。滿蒙の天地は私を待つこと大なる事を信じます。どうぞお身大切に、廿九日以後は內地からの通信は不可能と思ひます。

妙齡のキ印
出鱈目を並べ 署員を手古摺らす

今二十二日午前十時頃妙齡の女が平署に出頭『貯金通帳を交附せぬから局長を說諭して貰ひ度い』と申立に不審な點あるので取調べると右は草野村絹谷つるよ二女會川トミ(二二)と言ふ精神病者と判明目下保護を加へ

醫院開業
諸橋外科醫院
醫學博士 諸橋鐵猟
平町新川町廿七(電話四六四)
入院室 手術室 完備
診療科目 ○內臟外科 ○整形外科 ○腦外科 ○皮膚科 ○婦人外科 ○性病科 ○一般外科

耳鼻咽喉科專門 山內醫院
平町田町七〇番地
醫學士 山內亨吉
入院隨意 病室完備
電話 六九一番

御贈答用品は ―氣のきいた實用向―
(其の一部)
●ハンカチーフ 一打箱入 四十八錢 八十錢 その他
●タオル 箱入 二十五錢より
●御敷布 上生地箱入 六十錢より
●シャツ類、靴下、お化粧品 石鹸類
●タバコ、その他御相談下さいませ!
中野洋品店 平二・電五三番